



名家手簡

初集

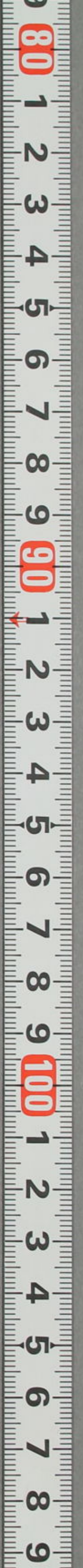
下

NO. 15

秋玉山
服南郭
三井龍湖
中井竹山
江北海
月僊

大典
六如
岡本喜菴
趙陶齋
依々木文山

貳





秋山玉山

名儀一名定政字子羽别号青柯通稱儀右門
肥後侯儒臣寶曆十三年没年六十二

西學多手抄 秋山流分

如海和重如元

子好庭治川 次子具

子少、轉齋 集一取

口魚板西連似一杯
了下、好夕の里と至
幼力のと名心しりす方、
とて物たをし、妻良也
お下、了書如能
有れ母か、托飲之
こし、又、お母よ托

給し、右、お、お、お、
湯、下、家、之、
寺、之、
十、了、部、

あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、
あ、あ、あ、あ、

服部南郭

名元喬字子遷別号芙蓉館通稱小右衛門
寶曆九年没年七十七

小室
加藤
和
氏
氏
氏

服部南郭

清子
氏
氏
氏
氏
氏

其
氏
氏
氏
氏
氏

其
氏
氏
氏
氏
氏

又其佳矣
 乃其子
 上其子
 及子

三井龍湖

名親和字彌御通稱孫兵衛住江戸深川
 天明二年三月七日卒

九平和
 三井孫兵衛

乃其子

上其子

及子

青井法海

丁卯年

古山寺抄

中石之出状之所方第屋方第方久
憫之解忙身相えはつる俄之秋迄
老人抱之綿いささ方何少降おとる
ソ中より我意元解方おとる
夕降心ありし方何少降おとる
南白母末之信居方何少降おとる
老人近況之信居方何少降おとる
砂中川いささく事想懐之可憐

あはれ 但し 昔より 却る 昔を 今に 果は
りて 程 徳分 無難と ありて
一 何れ 和の 紙上 之を 思懐 して
ふに 先年 之を 上京 京東 十年 之
に 像 ありて 明年 何年 之
口 上京 して 何れ ありて
之の 義と 明年 三月 中旬 あり
あ 上 して 何れ ありて 明年 之
大馬 勢 七千 ありて 依り あり
輩 ありて 明年 三月 十四日 あり
一 楚 ありて 何れ ありて 明年 之

六十 之 所 何れ ありて 何れ ありて
と 戸 ありて 何れ ありて 何れ ありて
何れ ありて 何れ ありて 何れ ありて
何れ ありて 何れ ありて 何れ ありて

八月十九日 江村信長

江村北海

名 俊 字 君 錫 通 稱 傳 左 衛 門 清 田 信 史 兄
青 山 侯 儒 臣 住 京 師

了みろ所共、再
物あることありては若
しやうしんは押さへ
しうらめしうは使西
口而み南をて国地

片々自らの心から物思
しと長々園へ三十五
十子何れもあつて
年々とあつて行はる
気も定まらぬ形跡は
あつて上り下りある
上り下りあるやうな
味もあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて
あつてあつてあつて

リヨクカクニシテ
三宮ニテアリテ
好色ヲ好ムニシテ

ハクニシテ

吾田長子休 存照心

釋月僊

勢州山田宇治寂照寺住僧能画初学
圓山應挙後成一家

釋大典

名竺常一名顯常別号梅莊法海人住京所相國寺
慈雲菴書学趙松雪寛政中寐

者一亦毒肉之口也

心乃のありし一葉樹也

此之号は一當有也

梅王位法之号

其の如く
法中法猪の号あり

頃者一膳、之、之、の
連、之、之、之、之、
控、之、之、之、之、
如、國、之、之、之、之、
之、試、之、之、之、之、
先、之、之、之、之、

之、之、之、之、

市村吉之之、之、

釋六如

名慈周字六如号白樓别号首原或無著庵
住京師以詩鳴

予昔乃兄之作新法之詩
予年之改也其法之
好懷亦入其神
之期也予之
年之改也其法之

一昔亦存心
上端惜口
言之於女
道之於
此之於

ついでにねえやうに

うらやう

林泉乃
蘭

うらやう

うらやう

うらやう

うらやう

うらやう

うらやう

上りのこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ

十の百のこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ
こゝろこゝろ

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

あまのこ
あまのこ
あまのこ
あまのこ

了如
 子
 名
 秀
 歆

岡本喜庵初名正武後宣就又宣成号無名道者通稱半助
 彦根侯軍師學嵯峨天皇書故世稱天皇流能連歌及茶事
 明曆三年三月十一日卒年八十三法名秀歆

趙陶齋

名養字仲願一号息心齋或清暉閣長崎人晚年住
 泉州界府号拘把園天明六年没

久向大油馬

了如
 子
 名
 秀
 歆

Handwritten cursive text on the right page, consisting of approximately 10 vertical columns of characters.

Handwritten cursive text on the left page, consisting of approximately 5 vertical columns of characters.

Handwritten calligraphy in cursive script (草書) within a rectangular border. The text consists of three vertical columns of characters, likely a poem or a short inscription.

佐木文山

名淵龍字文山俗稱百助号墨華堂之龍弟
享保二十年没年七十七

Handwritten calligraphy in cursive script (草書) within a rectangular border. The text consists of three vertical columns of characters, likely a poem or a short inscription.

少志詞 詩 贈 二

詩 贈 二 五

詩 贈 二 七

詩 贈 二 八

詩 贈 二 九

詩 贈 二 十

詩 贈 二 十一

名家手簡

自初集至十集

二十冊

同續集

全嗣刻

二十冊

雲上寶翰

三冊

名彥寶翰

三冊

會津山氏香雪齋摹刻

東都芝神明前

和泉屋吉兵衛葺完

